歯科予防処置論Ⅰ

［講義・実習］　第１学年　前後期　必修　4単位

《履修上の留意事項》１．基礎実習帳のチェックポイントの番号に従って事前学習すること。
２．スケーリング実技試験は後期の相互実習前にすべての部位を合格しておくこと。
３．到達度チェックは合格するまで受験する。

《担当者名》専任教員／〇大山　静江　／岡橋　智恵　／千葉　利代　／ 秋元　奈美 ／ 山形　摩紗

【概　要】
歯科予防処置は、「歯および口腔の疾患を予防して健康な状態を維持・増進するために行われる専門的な処置」である。歯科予防処置論Ⅰでは口腔の基礎知識や歯科予防処置実施のための基礎知識を学ぶ。また、実習をとおして歯石除去法やう蝕予防処置法などの技術を修得する。

【学修目標】
一般目標
歯および口腔の疾患を予防するために、専門的な知識、技能、態度を修得する。

到達目標
☆歯科予防処置の法的位置づけを説明できる。
☆歯や歯周組織と口腔の構造とを説明できる。
☆歯石除去に使用する器具の種類を説明できる。
☆手用スケーラーの操作ができる。
☆プロービングの操作ができる。
☆歯石除去時の偶発事故を未然に予防できる。
☆歯面清掃・研磨の特徴について説明できる。
☆パワースケーラーの特徴について説明できる。
☆超音波スケーラーの操作ができる。
☆フッ化物応用法を説明できる。
☆フッ化物局所応用ができる。
☆シャープニングの必要性が理解できる
☆シャープニングを実施することができる。
☆相互実習で歯石除去における一連の操作ができる。
☆患者に配慮した対応ができる。
☆実習中はチームで協働することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	授業のオリエンテーション 歯科予防処置論の概要	講義 ●歯科予防処置の定義について説明できる。 ●予防の概念について説明できる。 教科書：P2～4､9～14 予習：ﾁｪｯｸﾎﾟｲﾝﾄ1～6	大山　静江
2	口腔の基礎知識	講義 ●正常な口腔の構成要素を列挙できる。 ●歯周組織の構成要素について説明できる。 ●歯冠と歯根の形態の違いを説明できる。 ●口腔の機能について説明できる。 教科書：P16～25 予習：ﾁｪｯｸﾎﾟｲﾝﾄ7～10	大山　静江
3	う蝕と歯周病の基礎知識①	講義 ●口腔内の付着物・沈着物について説明できる。 教科書：P28～38 予習：ﾁｪｯｸﾎﾟｲﾝﾄ11～18	大山　静江
4	う蝕と歯周病の基礎知識②	講義 ●う蝕について説明できる。 ●歯周病について説明できる。	大山　静江

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		教科書：P38～43 予習：ﾁｪｯｸﾎﾟｲﾝﾄ19～30	
5	マネキンの取り扱い 咬合器の取り付け方 ミラーテクニック	講義・実習 ●マネキンに咬合器を設置することができる。 ●マネキンを操作することができる。 ●ミラーの操作ができる。 教科書P161～163 予習：教科書を事前に読むこと。	大山　静江 山形　摩紗
6	探針操作 歯石の観察	講義・実習 ●探針の種類を説明できる。 ●マネキン上で探針の操作ができる。 ●抜去歯牙を使い、歯石の付着伏態を観察できる。 教科書P108～109 予習：ﾁｪｯｸﾎﾟｲﾝﾄ31～34	大山　静江
7 ～ 8	手用スケーラーの基礎知識 手用スケーラーの基礎実習①	講義・実習 ●手用スケーラーの種類と特徴を学ぶ。 ●スケーラーの把持ができる。 ●スケーラーの3つの動きを理解できる。 教科書：P163～167 予習：ﾁｪｯｸﾎﾟｲﾝﾄ35～43	大山　静江 山形　摩紗
9	手用スケーラーによる基礎実習②	実習 ●顎模型上でスケーラーの基本操作ができる。 ●部位別作の方法を教本と関係づける。 教科書：P170～176 予習：動画配信「シックルスケーラーの基本操作」	大山　静江 山形　摩紗
10	シックルスケーラー部位別操作①	実習 ●部性別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●１３～２３番を操作する。 教科書：P172 予習：動画配信「シックル部位別操作①」	大山　静江 山形　摩紗
11	シックルスケーラー部位別操作②	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●３３～４３番を操作する。 教科書：P171 予習：動画配信「シックル部位別操作②」	大山　静江 山形　摩紗
12	シックルスケーラー部位別操作（復習）	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●１３～２３番、３３～４３番を復習する。	大山　静江 山形　摩紗
13	シックルスケーラー部位別操作③	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●３４～３７、４４～４７番のサイドポジションを操作する。 教科書：P173～174 予習：動画配信「シックル部位別操作③」	大山　静江 山形　摩紗
14	シックルスケーラー部位別操作④	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●３４～３７、４４～４７番のバックポジションを操作する。 教科書：P173～174 予習：動画配信「シックル部位別操作④」	大山　静江 山形　摩紗
15	シックルスケーラー部位別操作（復	実習	大山　静江

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	習）	●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●３４～３７番、４４～４７番を復習する。	山形　摩紗
16	シックルスケーラー部位別操作⑤	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●２４～２７、１４～１７番のバックポジションを操作する。 教科書：P175～176 予習：動画配信「シックル部位別操作⑤」	大山　静江 山形　摩紗
17	シックルスケーラー部位別操作⑥	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●２４～２７、１４～１７番のサイドポジションを操作する。 教科書：P175～176 予習：動画配信「シックル部位別操作⑥」	大山　静江 山形　摩紗
18	シックルスケーラー部位別操作（復習）	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●１４～１７番、２４～２７番を復習する。	大山　静江 山形　摩紗
19	シックルスケーラー部位別操作（復習）	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。	大山　静江 山形　摩紗
20 ～ 22	シックルスケーラー操作実技試験	実習・試験 ●提示された部位を教本・動画の操作に従いマネキン上で操作できる。	大山　静江 山形　摩紗
23	キュレットスケーラーの基礎実習	講義・実習 ●キュレットスケーラーの特徴を学び、部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 教科書：P167～170、歯周病学P164～170 予習：ﾁｪｯｸﾎﾟｲﾝﾄ60～67 動画配信「キュレットの基本操作」	大山　静江 山形　摩紗
24	キュレットスケーラー部位別操作①	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●１３～２３番を操作する。 教科書：P172、歯周病学P172 予習：動画配信「キュレット部位別操作①」	大山　静江 山形　摩紗
25	キュレットスケーラー部位別操作②	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●３３～４３番を操作する。 教科書：P171、歯周病学P171 予習：動画配信「キュレット部位別操作②」	大山　静江 山形　摩紗
26	キュレットスケーラー部位別操作（復習）	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●１３～２３番、３３～４３番を復習する。	大山　静江 山形　摩紗
27	キュレットスケーラー部位別操作③	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●３４～３７、４４～４７番のサイドポジションを操作する。 教科書：P173、174、歯周病学P173、174 予習：動画配信「キュレット部位別操作③」	大山　静江 山形　摩紗
28	キュレットスケーラー部位別操作④	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●３４～３７、４４～４７番のバックポジションを操作する。 教科書：P173、174、歯周病学P173、174 予習：動画配信「キュレット部位別操作④」	大山　静江 山形　摩紗
29	キュレットスケーラー部位別操作（復習）	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。	大山　静江 山形　摩紗

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		●３４～３７番、４４～４７番を操作する。	
30	キュレットスケーラー部位別操作⑤	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●２４～２７、１４～１７番のバックポジションを操作する。 教科書：P175、176、歯周病学P175、176 予習：動画配信「キュレット部位別操作⑤」	大山　静江 山形　摩紗
31	キュレットスケーラー部位別操作⑥	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●２４～２７、１４～１７番のサイドポジションを操作する。 教科書：P175、176、歯周病学P175、176 予習：動画配信「キュレット部位別操作⑥」	大山　静江 山形　摩紗
32	キュレットスケーラー部位別操作（復習）	実習 ●部位別操作法（マネキン実習）を応用できる。 ●１４～１７番、２４～２７番を操作する。	大山　静江 山形　摩紗
33 ～ 35	キュレットスケーラー操作実技試験	実習・試験 ●提示された部位を教本・動画の操作に従い、マネキン上で正確に操作することができる。	大山　静江 山形　摩紗
36	歯面研磨、プロービング、歯の動揺度	講義 ●それぞれの目的、種類、方法について学ぶ。 ●操作上の注意事項や注意を要する症例について学ぶ。 ●PTC、PMTCの違いを理解する。 ●プロービングから得られる情報を理解する。 ●ピンセットを使った動揺度の測定方法を学ぶ。 教科書：P113～120、196～203 予習：ﾁｪｯｸﾎﾟｲﾝﾄ44～59、92～99	大山　静江
37 ～ 38	歯面研磨、プロービング、歯の動揺度（マネキン）実習	実習 ●使用器材と操作方法について説明できる。 ●マネキンを使い操作ができる。 予習：基礎実習帳「歯面研磨(ポリシング）実習」の術式を確認する。	大山　静江
39 ～ 41	プロービング・歯の動揺（相互）実習	実習 ●術者として患者のポケットの深さを測定できる。 ●補助者として、数値の記入を正確に行う事ができる。 ●術者、補助者として患者へ配慮できる。 予習：予防処置記録の用紙の記入方法を確認する 提出物：実習帳「予防処置記録」	大山　静江
42	歯周疾患の指数 う蝕の指標	講義・演習 ●歯周疾患の炎症状態を評価する各種指数（PMA・PI・GI・GBcount・CPI）について説明できる。 ●う蝕の指標について説明できる 教科書：P130～136 予習：教科書を一読し各指数の計算方法を確認する	大山　静江
43	う蝕予防処置法の基礎知識①	講義 ●う蝕予防処置法の基礎知識を列記する。 ●フッ化物局所塗布、フッ化物洗口、フッ化物配合歯磨剤の概説できる。 教科書：P206～231 予習：ﾁｪｯｸﾎﾟｲﾝﾄ100～114	大山　静江
44	う蝕予防処置法の基礎知識②	講義 ●フッ化物の毒性と急性中毒について説明できる●フッ化ジアンミン銀の作用機序、応用時期、注意事項を概説できる	大山　静江

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		教科書：P231～234 予習：ﾁｪｯｸﾎﾟｲﾝﾄ115～120	
45 ～ 46	シャープニング実習	講義・実習 ●目的、使用器具・器材、方法について説明する。 ●Dullスケーラーを使用し、シャープニングを実施する。 教科書：P189～196 基礎実習帳：「時計の文字盤を利用したシャープニング方法」 予習：ﾁｪｯｸﾎﾟｲﾝﾄ74～84 提出物：実習帳「シャープニング実習」	大山　静江
47	感染予防と偶発事故予防およびその対処法	講義 ●歯石除去実習に備えた感染予防対策を相互実習と関係づける。 ●歯石除去時における偶発事故を想定し、対応法を応用できる。 ＊当日プリントを配布する	大山　静江
48	歯周病のリスク 定期試験対策①	講義 ●歯周病の基礎知識を説明できる。 ●歯周治療について列記できる。 ●定期試験範囲を確認した上で分類できる。 教科書：歯周病学P28～36,46～48 予習：教科書を一読しておく	大山　静江
49 ～ 50	う蝕予防処置法（相互）実習	実習 ●フッ化物局所塗布を相互で実施する。 ●フッ化ジアンミン銀を操作する。（塗布は行わない） ●患者へ術前・術後教育ができる。 予習:実習帳「フッ化物、フッ化ジアンミン銀の術前、術後教育」を記入しておく。「フッ化物局所塗布、フッ化ジアンミン銀相互実習」の術式を確認する。	大山　静江
51 ～ 53	歯面研磨（相互）実習	実習 ●術者として歯面研磨が実施できる。 ●患者体験をすることで、気持ちを理解する。 ●術者、補助者として、患者の対応法について学ぶ。 教科書：P196～202 予習：：基礎実習帳「歯面研磨(ポリシング）実習」の術式を確認する。 提出物：実習帳「歯面研磨実習」	大山　静江
54	機械的スケーラーの基礎知識	講義 ●超音波スケーラー、エアスケーラーの原理、構成、操作方法を説明する。 ●それぞれの特徴、利点、欠点、適応、禁忌について列記する。 教科書P177～188 予習：ﾁｪｯｸﾎﾟｲﾝﾄ80～91	大山　静江
55 ～ 56	超音波スケーラー（マネキン）実習	実習 ●超音波スケーラーの取り扱いを説明する。 ●術者として超音波スケーラーを操作する ●補助者として超音波スケーラー及び関係する器具を準備する。 教科書P177～188	大山　静江
57	定期試験対策②	講義 ●定期試験範囲を確認した上で分類できる。	大山　静江
58 ～	スケーリング（相互）実習	実習 ●患者にプロービング、手用スケーリング、超音波ス	大山　静江

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
60		ケーリング、歯面研磨の一連の流れを応用できる。 ●対象者の口腔内に合わせた操作ができる。 ●術者・補助者と協働して患者へ配慮を行う。 予習：実習帳「スケーリング相互実習」の術式を確認する。 提出物：実習帳「予防処置記録」「術者として」「患者として」	

【授業実施形態】
面接授業
※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】
◇定期試験（実技試験、提出物、授業態度を含む）100%
以上を総合的に評価する。

【教科書】
歯科衛生学シリーズ 第2版「予防処置論・歯科保健指導」
歯科衛生学シリーズ 「保健生態学」
歯科衛生学シリーズ 「歯周病学」

【参考書】
「歯科衛生士のための齲蝕予防処置法」第2版
ポイントチェック歯科衛生士国家試験対策⑤

【備考】
手用スケーラーの実技練習は授業時間内で不足な場合、別時間に練習することができる。（要予約）

【学修の準備】
・講義の予習は、チェックポイントをノート（ルーズリーフなど）にまとめてください。「授業内容及び学習課題」に関連番号が記載されています。
・スケーリング基礎訓練の予習は配信された動画を確認してください。
・使用する器具、教科書、実習帳は必ず持参してください。（実習の使用器具を忘れた場合は実技ができないため、見学実習になります）
・実習は指定された制服を着用し、身装を整えてください。

＜授業時間外学修＞
予習：30分、教科書や参考書を利用して各回の内容（授業内容および学習課題参照）を調べる。
復習：30分、専門用語を覚え説明できるようにまとめる。

【実務経験】
大山静江・山形摩紗（歯科衛生士）

【実務経験を活かした教育内容】
歯科衛生士としての実務経験を活かし、実践的に教育を行う。